

## 船室について

- 全室シャワー・トイレ・冷蔵庫完備です。
- 船室は、上段ベッド付きとなる場合がございます。指定はお受けできません。
- A1、A2、A3、A4、Bクラスの客へ入浴利用は、ご乗船代金の20%となります。D1、D2は180%です。
- A1、A2、A3、A4、B、D1クラスは、洗浄機能付きトイレを完備しています。
- C1、G、L、Mクラスの室申し込みでは、洗浄機能付きトイレのオプション申込が可能です(有料)。
- A1、A2、A3、A4、Bクラスのソファは、ソファベッドとしてもご利用いただけます。
- A1、A2、A3、A4クラスは船室指定が可能です(船室指定後に旅行契約を解除される場合、船室指定取消料として旅行代金の5%を申し受けます。90日前以降は旅行条件記載の取消料に準じます)。
- お好きな年齢層もご利用ください(大人1名につき未成年1名無料(詳しくは弊社までお問い合わせください)。
- 相部屋申し込みのお客様はシャワー、トイレ、ロッカー、その他の設備は同室者と共に共有です。
- セマンタルタイプ、フレンドリータイプは、船内をカテナで区切り、プライベート空間を提供するコンパクトタイプです。
- 旅行開始時13歳未満(中学生を除く)のお子様連れでの相部屋申し込みはお受けできません。
- フレンドリータイプの船室は、2段ベッドの下段指定が可能です(有料)。ベッド下のスペースは同室者との共有です。

## ビザ(査証)取得について

- クルーズに必要なビザ(査証)は、弊社にて取得手続きの代行をいたします。(有料)
- 参加いただくオプションツアーによっては、ビザ取得のための追加代金や追加書類をご提出いただく場合があります。
- 本パンフレットのビザ取得代金は日本国籍の方の代金です。日本国籍以外の方もお気軽にお問い合わせください。
- 米国入国には、ESTA認証(米国電子渡航認証システム)の事前取得が義務づけられています。(有料40米ドル)
- 英国入国には、ETA(電子渡航認証)の事前取得が義務づけられています。(有料:16英ポンド)
- シェンゲン協定により、ご出発前のシェンゲン加盟国への旅行日数によっては、当クルーズにご参加いただけない場合がございます。
- 2026年より欧州渡航情報認証制度(ETIAS)の導入が予定されています。

## 海外旅行保険への加入が必須です

ご旅行中に疾病や事故などの事態に遭遇し、思いもよらない高額な治療費用や救援者費用などが発生した場合、法律上これらの費用は全てお客様個人のご負担となります。このような事態に備えるため、旅行期間のすべてがカバーされた海外旅行保険へ必ずご加入ください。海外旅行保険に加入されない場合、本旅行への参加をお断りする場合がございますので、予めご了承ください。

## 旅行変更費用補償特約の同時加入をおすすめします

クルーズの取消料はご出発の90日前から発生しますので、ご自身はもとより、ご家族・ご親戚の病気・事故などでご旅行をキャンセルしなければならぬ場合に備えて「旅行変更費用補償特約」に加入することをおすすめします。

## 海外安全情報

外務省の治安に関する海外安全情報より下記の通り危険情報が発出されておりますが、現地手配会社・関係官庁・船舶代理店などから最新情報を得て、当社が安全と確認しましたので本旅行を履行いたします。

- 「レベル1」：十分注意してください  
コロンボ、アカバ、ポートサイド、カルタナナ、クリストバル、プンタレナス
- 「レベル2」：不要不急の渡航は止めてください  
マンサニョ

尚、現地の治安および感染症など海外の安全に関する情報は、お客様自身でも確認していただきますようお願いいたします。

## 旅行代金一覧(単位:円)

船室クラス	バルコニー/窓	フロア	※いずれも大人お一人様旅行代金です								
			ベア (2人部屋)	相部屋可	シングル (1人部屋)	セミシングル (2人部屋)	フレンドリー (3~4人相部屋)				
オーナーズスイート		9-10	A1	15,050,000	—	—	—	—	—	—	—
ペントハウススイート		8	A2	11,400,000	—	—	—	—	—	—	—
プレミアムスイート	バルコニー付	9-10	A3	9,600,000	—	—	—	—	—	—	—
スイート		8	A4	9,000,000	—	—	—	—	—	—	—
ジュニアスイート		10-12	B	7,560,000	—	—	—	—	—	—	—
バルコニーI		10-12	C1	4,900,000	○	I	9,310,000	—	—	—	—
バルコニーII		9	C2	4,760,000	○	J	9,044,000	—	—	—	—
アウトサイドワイド	窓あり	9-11	D1	4,000,000	○	—	—	—	—	—	—
アウトサイドビュー		8	D2	3,920,000	○	—	—	—	—	—	—
アウトサイドI		8	E	3,640,000	○	K	6,552,000	E2	3,740,000	—	—
アウトサイドII		5-6	F	3,500,000	○	L	6,300,000	F2	3,600,000	F4	4名 2,800,000
スタンダードインサイドI	窓なし	8-11	G	2,860,000	○	M	5,148,000	G2	2,960,000	G3	3名 2,223,000
スタンダードインサイドII		5-6	H	2,470,000	○	N	4,446,000	H2	2,570,000	H4	4名 1,980,000

※フレンドリータイプは、出航時75歳未満のお客様限定です

※H4クラスのフロアは8-9Fとなります

## 旅行企画・実施 株式会社ジャパングレイス(観光庁長官登録旅行業 第617号)

T169-0075 東京都新宿区高田馬場1-32-13  
www.japangrace.com

一般社団法人日本旅行業協会正会員 旅行業公正取引協議会会員

振込口座 口座名義は <b>いずれも(株)ジャパングレイス</b>	三菱UFJ銀行 高田馬場支店 普通 1211859	三井住友銀行 高田馬場支店 普通 9103064	みずほ銀行 高田馬場支店 普通 1991082
--------------------------------------	---------------------------------	--------------------------------	-------------------------------

Coordinated by ビースポート 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-13-1-B1  
TEL: 03-3363-7561 / FAX: 03-3363-7562 www.peaceboat.org

PHOTO: PEACEBOAT、職員美穂、奥平啓太、片岡和志、千賀健史、中筋浩太、水本俊也、志木浩志、吉田タイスケ、Georgi Tushev、Lars Korvald (Storywell)、Adobe Stock、shutterstock.com、ソーラールグッド株式会社



【プライバシーポリシー】  
株式会社ジャパングレイスでは、お客様からご提供いただく個人情報の取扱いについて、ウェブサイトにてご案内しております。  
https://www.pbcruiase.jp/privacy/

## 旅行条件(要旨) - 詳しい旅行条件書をお読みいただけますので、内容を確認のうえお申し込みください -

本旅行条件書は、旅行業法第12条の4に定める取引条件説明書面および同法第12条の5に定める契約書面の一部となります。

### 1. 募集型企画旅行契約

本旅行はNGOビースポートがコーディネートし、株式会社ジャパングレイス(以下「当社」といいます)が企画・実施する旅行です。本旅行に参加されるお客様は、当社と募集型企画旅行契約(以下「旅行契約」といいます)を締結することとなります。

### 2. 旅行のお申し込み

当社所定の旅行申込書に所定の事項を記入のうえ、申込金として旅行代金の5%にあたる金額(別紙参照)を添えてお申し込みください。当社が申込金の受領確認が出来た時点で正式なお申し込みとなります。

### 3. 旅行代金に含まれるもの

①旅行日程に明記した船舶の運賃 ②船内宿泊(ご請求書に記載された船室クラス)、船内イベント(一部有料あり)の代金 ③明示した食事回数分の料金 ④船舶による手荷物運搬料金 ⑤添乗員との同行費

### 4. 旅行代金に含まれないもの(上記3項のほかは旅行代金に含まれません、その一部を以下に列示いたします。)

①オプションツアーの代金 ②船室クラス変更による追加代金 ③渡航手続費用(ビザ代、渡航手続代行手数料・予防接種料金等) ④船内のチップ ⑤ポートチャージ(港湾施設使用料等) ⑥国際観光旅客税 ⑦海外旅行保険料、電話代、飲み物代などの個人的費用 ⑧船通手荷物料金 ⑨自宅から発着地までの交通費・宿泊費・手荷物運搬費 ⑩船舶のフェリエル(船泊) サーチージ ⑪船舶に課せられるEIS・ETS・FuelEU Maritime・GRI 等、環境規制対応チャージ(環境対応サーチージ) ⑫訪問する国や自治体等により課せられる環境保全税・観光税・オーバーツーリズム対策税

### 5. 旅行代金のお支払い

①旅行開始日の前日から起算してさかのぼって60日目に当たる日以降の当社の定める日までに申込金を頂いた旅行代金及び諸費用等をお支払いください。②お申込金は使用船舶の貸切代金の一部に使用いたします。

### 6. 特別補償

当社はお客様が企画旅行中に、急激かつ偶然な外来の事故により破られた一定の損害についてあらかじめ定める額の補償金および見舞金を支払います。

### 7. 取消料

お客様は次に定める取消料をお支払いいただくことにより、いつでも旅行契約を解除することができます。

旅行開始日の前日から起算してさかのぼって	取消日	取消料
	91日前まで	無料
90日前以降60日前まで	旅行代金の5%	
59日前以降29日前まで	旅行代金の50%	
28日前以降15日前まで	旅行代金の80%	
14日前以降	旅行代金の100%	

本旅行の使用船舶は貸切船舶によるものであり、いかなる理由であれ、旅行開始後の船舶に係る旅行代金の払い戻しはありません。

### 8. その他

①クルーズにご参加の場合は、海外旅行保険にご加入されることを必須といたします。②旅行条件に定めのない事項は当社旅行業契約(募集型企画旅行契約の部)によります。なお、当社約款は当社ウェブサイトよりご覧いただけます。

このパンフレット記載内容は2026年2月12日を基準としています。

## 別途諸費用(単位:円)

※2026年2月12日現在の金額です

チップ合計	181,440
ポートチャージ合計	86,240
ビザ取得代金合計	43,000
国際観光旅客税	1,000
米国アラスカ州クルーズ税	5,320

- 最少催行人員:1,000名
- 船中泊
- 日本人添乗員が同行します
- 食事:朝106回、昼106回、夕106回
- 医師、看護師が乗船します
- 使用船舶:パシフィック・ワールド号(総トン数:177,441トン/全長:261.3メートル/全幅:32.26メートル/容積:8,311メートル/乗客定員:2,419名/運航会社:シーホークコーポレーションリミテッド(インク))

## お申し込みご相談は 0570-030-617

11:00-17:00(午休・土・日・祝)  
この電話は業務に専任し、通話料はおお客様負担となります

### 営業所のご案内

来店の際はご予約をお願いします

### (株)ジャパングレイス本社営業所

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-32-13 マリンビル2F  
FAX: 03-5287-3083 (HMM専用)  
総合旅行業業務取扱管理者: 中瀬朝宏・延原正・本山誠 ※

### (株)ジャパングレイス大阪営業所

〒530-0003 大阪市北区高島2-27 桜橋千代田ビル8F  
FAX: 06-6442-3701 (HMM専用)  
総合旅行業業務取扱管理者: 松本健介 ※

※総合旅行業業務取扱管理者は、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引に関する責任者です。この旅行契約に關し担当者からの説明にてご不明な点があれは、ご連絡の上上記の総合旅行業業務取扱管理者にお尋ねください。

# PEACE BOAT CRUISE VOYAGE 126

ヨーロッパ&アラスカコース

2027年4月 Voyage126

横浜発着108日間

2027.4.7(木) - 7.23(金)

神戸発着108日間

2027.4.8(木) - 7.24(土)



船旅で見える、新時代のヨーロッパ

パシフィック・ワールド号でゆく ビースポート地球一周の船旅

旅行企画・実施 株式会社ジャパングレイス

# PEACEBOAT CRUISE

2027.4 Voyage126

## 新しい体験に出逢う旅



2027年4月春に出航し、アジアから初夏のヨーロッパ、北中米をめぐる世界一周クルーズ。旅行のベストシーズと呼ばれる初夏には、地中海の入口・ポルトサイド（エジプト）から、世界最北の首都、レイキャビク（アイスランド）まで、地中海・ヨーロッパ地域だけで13の寄港地を訪れます。北中米でもピースボートだから、この季節だから体験できる楽しさが盛りだくさん。さあ、まだ見ぬ体験に出逢う旅へ！

静寂に包まれたノルウェーのフィヨルドを進むバシフィック・ワールド号。天候によって見える表情が変わるこの地域で、雲の間から陽光が差し込んだときの一瞬。

2024年6月 撮影

P4-13

### NOSTALGIC & NEW EUROPE BY CRUISE

- 懐かしくて新しい 船でゆくヨーロッパ
- 美しい初夏の北欧をめぐる
- ありがとうございます！ 優しくて美味しいギリシャの旅

P14-17

### BEYOND TOURISM, EXPERIENCES BROUGHT TO YOU BY PEACE BOAT

- 特別な経験をあなたに ピースボートだから出逢えるもの

P18-19

### DESTINATIONS & PORTS

- 世界一周クルーズの旅 全寄港地一覧



## Voyage126がめぐる、ヨーロッパ航路



★2024年初夏、航海作家カナマルトモヨシさんがピースポートクルーズでめぐった航路

# NOSTALGIC & NEW EUROPE by CRUISE

## 懐かしくて新しい 船でゆくヨーロッパ

古くから人びとが海をわたり文化を融合させてきたヨーロッパ。2024年初夏のピースポートクルーズに同行した航海作家・カナマルトモヨシさんが、船旅だから体験することができる、その場所の楽しみを綴りました。



## 01 旅のはじまり ユーラシア大陸、最果ての地

北緯38度43分。新潟、仙台とほぼ同緯度にポルトガルの首都リスボンはある。ヨーロッパの船旅は、大航海時代を世界にもたらし、戦国の日本に南蛮渡来ブームを巻き起こした国より始まる。その港からザビエルが東洋に旅立ち、天正遣欧使節の4人の少年が欧州に第一歩を記した。そんな過去と、街角でイワシを焼く光景を見かけることで、日本から遠く離れた街なのに、どこか懐かしさを感じさせる。出港したパシフィック・ワールド号はテージョ川を下り、大航海時代の栄華を現在に伝える世界遺産・ジェロニモス修道院やバレンの塔をみながら大西洋に乗り出す。



リスボンならではの急こう配の坂道も名物の黄色いトラムがくると、たちまち撮影名所になる。

## 02

### 充実の移動時間 船の上でも世界一周

イベリア半島沿いに北緯40度線を越える航海。そこでは、ポルトガルでも第一線で活躍するシンガーのマヤ・ミリンコヴィッチさんのファドの歌声に酔いしれた。サウダーデ（郷愁）というポルトガル特有の国民性を音楽で具現化したファド。リスボンでは、ライブで聴くことができなかった。しかし、彼女のおかげでパシフィック・ワールド号のシアターは、さながらファドハウスの観を呈した。ラストコンサートが終わり、ようやくリスボンを離れた気になったものだ。その直後、ホイールハウスパーで「ビートルズナイト」が行われる。イギリス寄港前には必ずと言っていいほど実施されるこの企画は、船専属のバンドがザ・ビートルズの4人組に扮し、その名曲の数々を演奏する。パーは乗船者だけでなく、船員たちも集まり、熱気にあふれる。やがて誰もが曲にあわせて激しく体を動かす。リスボンからロンドンへ。誰の心の中も、すでに飛んでいた。

### ヨーロッパ航海中の船上で 人気の企画の数々



マヤ・ミリンコヴィッチ LIVE



マスカレードパーティ



ビートルズナイト



フラメンコショー

世界中を旅してきたピースポートクルーズが、その経験と世界各地のネットワークを駆使して企画している船上イベント。「船の上でも世界一周」をテーマに繰り広げられる、「見る」だけでなく「体験型」エンターテインメントは、ときにはあなた自身がステージに立っていることも！あらゆる角度からお楽しみください。

## 03

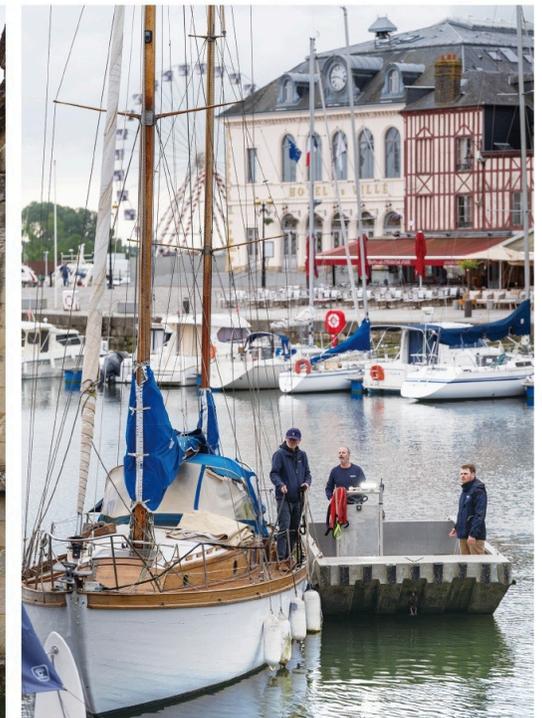
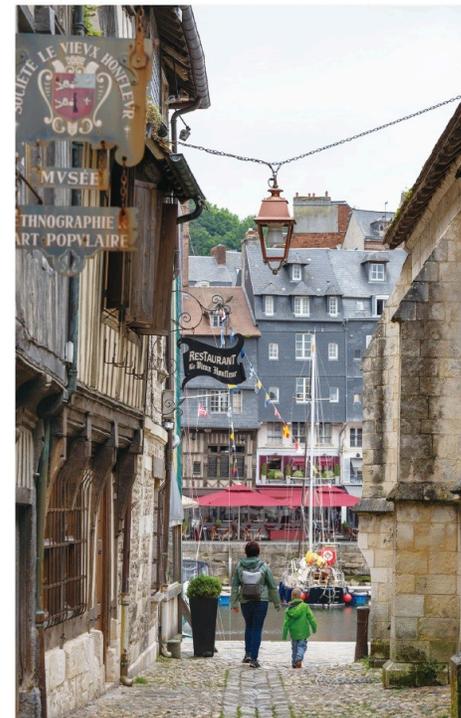
### 歴史を感じる航海 街歩きで見かける今昔と 人びとの交流が生み出す未来

翌日、アーブル（フランス）に入港。まず、セーナ川の対岸にあるオンフルールという港町に行った。中世以来の交易で栄えた旧港を中心に広がる古くも可愛らしい街並みが魅力的だ。その一方、80周年を迎えたノルマンディー上陸作戦（1944年）を記念する土産物の数々が売られる。そのギャップに、戸惑いも覚えた。第2次世界大戦中、ル・アーブルはドイツ軍の占領下にあったため、ノルマンディー上陸作戦に成功した連合軍の攻撃により多くの人命と古い街並みが失われた。現在の整然とした街並みは戦後の都市計画で再生したもの。ともにブーダンやモネといった印象派の画家たちが好んで描いた古い街並みを持ちながら片方はそれを当時のまま残し、もう一方は灰燼に帰しながらも生まれ変わった姿が世界遺産に登録された。セーナの両岸に位置する2つの街の対照的な歩みが垣間見える寄港だった。

### 企業とNGOがタッグを組む旅行企画



ピースポートクルーズでは、「旅行」という特別な経験が、エシカル（倫理的）でサステナブルなものであることを目指し、受け入れる人びとや国々との相互理解が深まる旅作りをしています。国際NGOピースポートが船旅をコーディネートすることによって、その幅はいち企業での取り組みより数段の広がりをみせています。例えば本船パシフィック・ワールド号は、国連SDGsキャンペーンの公式キャンペーン船と認定されています。



# 04

## 旅情を味わう ひとくせありな入国

ル・アーブルを出た船は北緯50度を超え、ドーバー海峡を渡る。そして翌日の午前中、テムズ川の河口に達した。8万トン近いパシフィック・ワールド号はその大きさゆえにテムズ川をさかのぼってロンドンまで乗り入れることはできない。しかし、ピースボートがチャーターしたテムズ川遊覧ポートに乗り換えてロンドンの中心部を目指す。それは1時間ちょっとの小さな、しかしエキサイティングな船旅であった。

経度0度0分0秒にあり本初子午線が通る河港都市としてユネスコの世界遺産に登録されるグリニッジの街並みや、復元保存されている19世紀の快速帆船カティークを眺め、タワーブリッジをくぐり世界遺産のロンドン塔、シャードやコココーラ・ロンドン・アイなど現代ロンドンのシンボリックな建築群を見ながら、世界遺産ウェストミンスター宮殿や時計台（ビッグ・ベン）までのリパクルーズ。これだけでも大満足のロンドンツアーである。

北緯51度30分に位置するロンドン。すでに日本最北端の宗谷岬（北緯45度31分）を北に大きく越えている。足かけ2日間のロンドン滞在では、短編小説『倫敦塔』を書いた夏目漱石の下宿跡や、ビートルズゆかりの地をめぐることに費やした。



The Beatles Tour - Another Story  
ビートルズゆかりの地、アナザーストーリー  
続きは特設ページへ！  
[https://info.pbcrui.se/jp/v126\\_qr01](https://info.pbcrui.se/jp/v126_qr01)



毎時ビッグ・ベンが奏でるメロディ、通称「ウェストミンスターの鐘」は、かつて学校で毎日聞いていたチャイムの音だった。

パシフィック・ワールド号はテムズ川を下って北海へ乗り出す。北欧にいたノルマン人は9～12世紀、海洋に進出。バイキング（入江の民）と恐れられた彼らの交易と海賊行為、さらに移住をももった大航海は中世ヨーロッパ社会に大きな変革をもたらした。それがひと段落した12世紀に生まれたのがハンザ同盟。これは北ドイツから西はフランドル、東は現在のポーランド・バルト諸国・ロシアにおよぶ広域の商業都市が結成した都市同盟だ。14世紀に最盛期を迎え、主権国家体制が確立する近世初期まで大きな勢力を持った。ここからは、ポルトガルがその先駆となった大航海時代のさら

に昔、バイキングの航海とハンザ同盟の隆盛をたどるタイムスリップ航海でもある。いや、その前からすでに中世にさかのぼる船旅は始まっている。現在のフランス北部に侵入したノルマン人はノルマンディー公国を建て、ル・アーブルのある地方はいまもノルマンディーと呼ばれる。さらにノルマンディー公ウィリアムはイングランドを征服してノルマン朝を建てた。彼はテムズ川クルーズで見たウェストミンスター寺院で戴冠式を挙げ、ロンドンを外敵から守るために建設した要塞がロンドン塔であった。やがてロンドンはハンザ同盟の在外商館が置かれる重要な都市となった。



ハンザ商人居住区に、14世紀に建設された貯蔵用の「ブリッゲン」と呼ばれる倉庫群。のちに世界遺産に登録された。

# 05

## 行き先は地球 その土地が育むものをまるごと体感する

ついにアラスカと同じ北緯60度以北に達する。ロンドンと並んで商館が置かれた港町ベルゲンである。バイキングが船で運んだ干しダラは保存食として人気が高く、ハンザ商人たちはこれを買付けするため、タラの産地ベルゲンに進出した。彼らの居住区に商品貯蔵用の倉庫が建てられ、それはブリッゲンと呼ばれた。現在、ブリッゲンは世界遺産に登録され、中世以来の街並と細い道をハンザ同盟の繁栄を思いつづいた。

ベルゲンを出港した翌朝、目覚めるとパシフィック・ワールド号はフィヨルドの中にいた。フィヨルドとはノルウェー語で「深く入り込んだ湾」という意味。約100万年前に北欧全体を覆っていた分厚い氷河が少しずつ溶けだし、谷底を削りながら海へと流れていった。その結果、いま目の前に広がる複雑に入り組んだ海岸線が生まれたという。それはまさに地球が造り上げた芸術であり、そこにいる我々はきょうだけ「入江の民」すなわちバイキングの気分を堪能することができる。



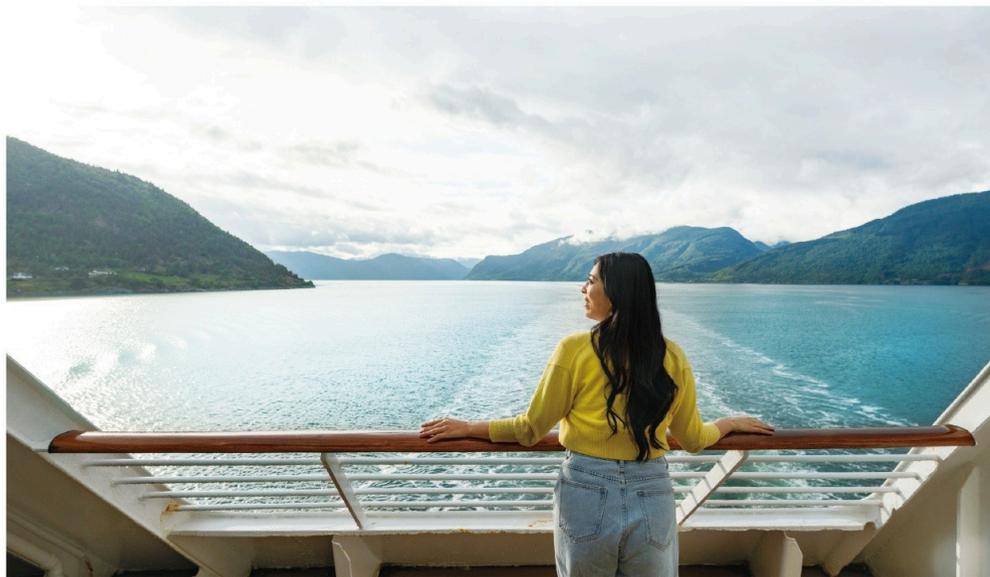
パシフィック・ワールド号はゆっくりとソグネフィヨルドを進む。ヨーロッパ本土で最長の204キロメートルにして最深（最も深い部分で1308メートル!）のフィヨルドがここにある。

海に落ち込む急斜面を大きな滝が流れ、高くそびえる山の頂を白い雪が覆う。ノルウェー・ウッズ（ノルウェーの森）に包まれた峡谷を進む大型客船も、ここではまるで小舟のようにしか見えない。

フィヨルドは息つく暇を与えない。次から次へと、海にいたとは思えぬような狭隘な水路が現れ、船の両側にごつごつとした岩肌が迫ってくる。そしてフィヨルド沿いにある集落を形成するカ

ラフルな家々に目を奪われた。これらのなかにはバイキング以前の時代にまでさかのぼる古い漁村も数多く点在するという。中世ヨーロッパ各地に進出し、その社会を現代にまで影響を与えるほどに大きく変えたバイキング。そのルーツを、これらの風景に見る思いがする。

この日、フィヨルドの天候は雨、晴れ、そして雨と目まぐるしく変わった。しかしフィヨルドの奥深くでは青空が広がる。そして、雨上がりのフィヨルドには大きな虹がいくつもかかった。まるで、ここまで来た私たちへのご褒美のように。



カナマルトモヨシ  
航海作家

日本各地のみならず世界の五大大陸をクルーズで訪問した経験を持つ航海作家。世界の客船を紹介する『クルーズシップ・コレクション』での執筆や雑誌『クルーズ』（海事プレス社）に連載記事やクルーズレポートを寄稿している。

Go North!

さらに、北上

## 美しい初夏の北欧をめぐる

### スウェーデン ストックホルム



第二次世界大戦の戦禍を免れたこともあり、首都ストックホルムには中世から続く歴史ある街並みがそのままに保存されている。とくに、旧市街「ガムラスタン」は、スウェーデン・バロック様式の王宮や大聖堂、ノーベル博物館など見どころが盛りだくさんだ。

上/歴史とモダンが共生するストックホルム。左/ガムラスタンは、石畳とカラフルな街並みのコントラストが美しい。右/水の都としての街並みも魅力的。



### フィンランド ヘルシンキ



ムーミンやサンタクロースの故郷としても知られるフィンランドには、フィンランド式サウナやマリメッコをはじめとする可愛いテキスタイルなど、世界を魅了する多くの楽しみが詰まっています。

上/白亜の外観に緑のドームが印象的なヘルシンキ大聖堂が街のシンボル。左/世界最大規模の海防要塞としてつくられ、今はピクニックの島として人気のスオメンリンナ島。右/首都でありながらコンパクトな街は、街歩きにぴったり。



### デンマーク コペンハーゲン



童話作家アンデルセンが愛した港町「ニューハウン」は、色とりどりの建物とオープンカフェやレストランが軒を連ねる、コペンハーゲンを代表する観光スポット。市庁舎前広場からコンゲンス・ニュートー広場までを結ぶショッピングストリートは、世界初の歩行者天国としても有名だ。

上/入り江に浮かぶ帆船が絵になるニューハウン。左/運河沿いにはアンデルセンが暮らした家も残る。右/ランゲリニエ埠頭沿いにたたずむ人魚姫の像。



### アイスランド レイキヤビク



中心地にレストランやショッピングができるポイントが集まっているので散策しやすいのが特徴。コーヒーの消費量が世界一といわれる北欧ならでは、街にはコーヒースタンドやオープンカフェが数多くある。

上/レイキヤビクの北、ヴィーズエイ島には芸術家オノ・ヨーコさんが手がけた屋外芸術作品「イマジンピスタワー」がある。左/独特の形が異彩を放つハットルグリムス教会。右/高さ70メートルも吹き上がる間欠泉。吹き上がるたび、歓声がある。



# Ευχαριστώ

“エウハリストー” (ありがとう)

## ありがとう！優しくて美味しいギリシャの旅

アテネとサントリーニ島。ギリシャのふたつの街を旅してみたら、アフリカや中東、そしてヨーロッパ文化がミックスされた、魅力的なギリシャの素顔が見えてきた！いざ、異文化の見事な融合を味わう味覚の旅へ。

### COFFEE



暑い季節、ギリシャで定番の飲み物といえば「フレッド・カプチーノ」。プラカ地区のカフェ『bookbar by Kaktos』でいただいたそれは、氷入りのエスプレッソの苦みとふんわりと泡立てたミルクがマッチして美味しい。お好みで砂糖を追加して召し上げ。



### MARKET



その土地の食文化を知りたいなら、マーケットを訪ねるのがいい。『アテネ中央市場』は、さまざまな食材がなんでも揃うアテネ市民の生活に欠かせない場所のひとつ。「朝、揚がったばかりだよ」と元気いっぱいなお姉さんが話しかけてくれた。



### RESTAURANT / ATHENS



バルテノン神殿に向かう坂道の途中にあるレストラン『Dioskouroi』。遺跡群を眺めながらいただくギリシャの名物料理はどれも絶品。フェタチーズを崩しながらいただくグreekサラダは、「旬の野菜を使うので、時期によって内容が変わるよ」とウェイターのお兄さんが教えてくれた。

### RESTAURANT / SANTORINI



ティラの観光中心地から少し離れたと、地元の人が集うリラックスした雰囲気のレストランもある。ラム肉のシチューやムサカなどの家庭料理を提供する『TAVERNA SIMOS』では、店員のサノジュさんがニコニコと迎えてくれた。トルコなどの影響からか羊肉を使った料理も多い。

### NATIONAL GARDEN



シンタグマ駅の東側エリアに広がる大きな国立庭園は、地元の人たちの憩いの場所。街歩きに疲れたら、サンドウィッチとコーヒーをテイクアウトして、森林浴をするのもおすすめ！木陰やベンチが多く、カメと水鳥のいる小さな池を眺めながら、ゆったり過ごせる。



### VEGETABLES



アテネの街歩きをしていると、青空市に出会うことも。新鮮な野菜や果物は量り売りで、少量から購入可。小腹がすいたら、ギリシャの代表的な軽食『スピナコピタ』を。ディルやミントをたっぷり使った、ほうれん草とフェタチーズのバイで、シンプルな美味しさ。

### SWEETS



中東からのルーツをもつスイーツが多いギリシャ菓子は、ひと口噛むと“ジュワー”とした甘さが身体中に広がる、痛みつきになる甘さ！プラカ地区にある『Amygdalo Shop』は、オーガニック素材の手作りスイーツショップとしてにぎわう。



# Beyond Tourism, Experiences Brought to You by Peace Boat

特別な経験をあなたに  
ピースボートだから出逢えるもの



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧

## Alaska アラスカ

船につらなる、ダイナミックな地球の姿

世界中の人びとを魅了する、アラスカの大自然に本船ごと繰り出します。

クルーズ客船という海に浮かぶリゾートに100日余と滞在しながら、その間世界各地に立ち寄りていく—そんな、夢のような究極の旅が世界一周クルーズです。いにしへの旅人もその姿を目に焼き付けた世界遺産や、地球誕生46億年の中でつくられた大自然が織りなす圧倒的な景色の数々はもちろん、“ピースボートで来てよかった”と思っていたいただけるような、特別な出逢いを数多く準備しています。

旅のハイライトとなる寄港地は、次々に訪れます。ガイドブック片手に歩くもよし、気の向くまま現地の空気を味わうもよし。あなたは大切な世界一周の旅を、どんなふうにご過ごしたいですか？

- ①②③⑤ 壮大なアラスカフィヨルドを遊覧 / 2024年7月撮影
- ④ 遊覧日のレストランは氷の彫刻で彩られる
- ⑥ アザラシ
- ⑦ クジラ
- ⑧ 遊覧記念ドリンクも堪能

# Cristobal

クリストバル (パナマ)

アメリカ大陸と世界をつなぐ  
世界海運の要衝“パナマ運河”  
をその目で

全長80kmを約8時間かけて縦り広げられる、システマティックな通航劇。水や電気の力を駆使しながら、閘門や人造湖をゆっくりと進んでいく様子を船のデッキから眺めましょう。  
亜熱帯気候特有の湿気を帯びた空気が全身を包み、水と土と、むせ返るような濃密な緑の匂いが未知の土地への興味をかきたててくれます。



# Aqaba

アカバ (ヨルダン)

謎多き伝説の古代遺跡  
砂漠に浮かぶバラ色の古代都市

ヨルダンを代表する壮大な古代都市・ペトラ遺跡は、未だ発掘が終わらないほどの壮大なスケール。高さ約40メートル、幅約30メートルもの巨大で美しい宝物殿「エル・ハズネ」はこの世のものとは思えない美しさで、光の射す角度によって微妙に色合いを変えるバラ色の岩肌が、訪れたすべての人を魅了します。



美しい民族衣装「モラ」を纏う  
パナマ先住民族クナ族コミュニティ訪問

20年以上にわたり、ピースボートの受け入れをしてくれている、古き友人たちを訪ねて先住民族のコミュニティへ。そこで目に飛び込んでくるのは、色とりどりのアップリケ刺繍が施されたモラ。古布を支援物資として届け、「手仕事交流」という素敵なコミュニケーションで、楽しいひとときがあつという間に過ぎていきます。



誰でもできる国際協力  
さまざまな支援物資を世界中に届けに

ヨルダンには、パレスチナや、内戦の続くシリア、イラクから多くの難民が逃れてきています。ピースボートでは、ヨルダンにある難民キャンプを度々訪れ、交流を行い、現地の人びとと顔の見えるつながりを作っています。そして、石鹸などの衛生用品や車椅子などを支援物資として届けています。



# New York

ニューヨーク (米国)

世界の流行の発信地  
全米一の大都市で楽しむ

世界経済の中心地として発展する大都市。街は高層ビルが立ち並び、ロックフェラー・センターから見下ろすマンハッタンの摩天楼には圧倒されます。巨大スクリーンや劇場看板がひしめくタイムズ・スクエアは、ニューヨークを代表するスポットで、世界中から人びとが訪れます。



ピースボートは船の上こそ、世界の最前線  
国連とのタイアップ船上企画も

国連本部のあるニューヨークに訪問中は、日々国際社会で活躍するさまざまな人に出会うチャンスです。ニューヨーク寄港時には、ピースボートの船を会場として、イベントや国際会議を開催します。また国連本部を訪問し、国際政治の現場を肌で感じるピースボートならではのツアーも人気です。

「世界のいま」を感じる 世界一周クルーズの旅 全寄港地一覧

**台湾 基隆**  
彩りにあふれ、芳香たどよう街角。屋台から老舗まで、魅惑の台湾グルメをめぐる旅

**ギリシャ ビレウス**  
素材の魅力を存分に活かした、今注目の“地中海食”。ギリシャ料理とワインで乾杯!

**フィンランド ヘルシンキ**  
シンプルさと機能美を兼ね備えた北欧デザインや建築物の数々、森と湖に囲まれた首都へ

**米国 ニューヨーク**  
画面越しに見た光景が目の前にいつの世も人びとを魅了するドラマチックな世界都市

**メキシコ マンサニージョ**  
国内屈指のリゾート地で味わいたい、タコスやワカモレなどの魅惑のメキシコ料理

**シンガポール**  
五感を刺激するコスモポリタンな街をめぐる、ルーツ入り混じる多国籍料理に舌鼓

**イタリア カリアリ [サルデーニャ島]**  
テラコッタ色の街並みに心惹かれて。海と太陽に愛される島で陽気なリゾート時間を

**デンマーク コペンハーゲン**  
爽やかな海風に誘われて歩くメルヘンな街。おとぎ話や戯曲の舞台を訪ねる旅

**コロンビア カルタヘナ**  
16世紀の街並みは世界遺産に。海賊たちの攻撃から守りを固めた美しいリゾートを堪能

**カナダ バンクーバー**  
住みやすい都市第1位! 自然もアクティビティもマーケットも見逃せない人気的大都市

**マレーシア ベナン島**  
文化が交差し共存する世界遺産 ジョージタウンで、マルチカルチャーを感じる街歩きを

**スペイン モトリル**  
歴史が生んだ光と影に魅せられて。アタダルシアの宝石が手招くスペイン南部の街へ

**ノルウェー ベルゲン**  
名物のサーモンもたっぷり! シーフードサンドをお供に、北欧でのハイキングを楽しむ

**パナマ クリスタバル**  
先住民族が守り継ぐ美しい手仕事で魅了する、瑞々しい緑と未知なる生き物が待つ地へ

**米国 スワード**  
「最後の秘境」で味わうクルーズの醍醐味。悠久のときが刻んだ地球の足跡を訪ねて

**スリランカ コロンボ**  
未知なる味と文化を求めて。熱気あふれるコロンボで出会うスパイスグルメの数々

**ポルトガル リスボン**  
“世界史を変えた港”に今も残るサウダーデ(郷愁)。入り組んだ路地をゆく魅惑の街歩き

**アイスランド レイキャピク**  
絶え間なく雄大な景色に抱かれたカラフルな街並み、北の大地で感じる地球の美しさ

**コスタリカ プンタレナス**  
希少な動植物が数多く生息する、エコトウリス先進国で雄大な自然に抱かれる



**ヨルダン アカバ**  
どこまでも続く砂漠と岩山、見る者を凌駕する「月の谷」ワディラムで異世界旅行を

**フランス ル・アーブル**  
印象派絵画発祥の地をめぐる、憧れの世界遺産と対面する。“フランスの美”を感じる旅

**エジプト ポートサイド**  
憧れ続けた神祕の地エジプトへ。歴史を紡ぐ、ロマンあふれる世界遺産との出会い

**英国 ロンドン [ティルベリ]**  
市民の社交場、パブで出会う名物料理と文化体験。イギリスを感じるとおきの時間を

**ギリシャ サントリーニ島**  
世界中の人をとりこにする絵画のような光景がここに。青く染まる海に抱かれた美しい島

**スウェーデン ストックホルム**  
中世から続くカラフルな街並みに心躍らせて。水辺の風景にこけあ北欧の美観都市



パシフィック・ワールド号でゆくピースポート地球一周の船旅

2027年4月 Voyage126  
横浜発着108日間 2027.4.7(水) -7.23(金)  
神戸発着108日間 2027.4.8(水) -7.24(土)

日程	日	入港	出港	寄港地	
4.7	水	入港	午後	横浜	
4.8	木	入港	夜	神戸	
4.11	日	入港	朝	基隆	台湾
4.17	土	入港	朝	シンガポール	
4.19	月	入港	朝	ベナン島	マレーシア
4.23	金	入港	朝	コロンボ	スリランカ
5.3	月	入港	朝	アカバ	ヨルダン
5.4	火	入港	夜		

スエズ運河通航					
5.6	木	入港	午後	ポートサイド	エジプト
5.7	金	入港	深夜		
5.9	日	入港	朝	サントリーニ島	ギリシャ
5.10	月	入港	朝	ビレウス	ギリシャ
5.13	木	入港	朝	カリアリ [サルデーニャ島]	イタリア
5.15	土	入港	午前	モトリル	スペイン
5.17	月	入港	朝	リスボン	ポルトガル
5.20	木	入港	朝	ル・アーブル	フランス
5.21	金	入港	午後	ロンドン [ティルベリ]	英国
5.22	土	入港	夜		
5.26	水	入港	午前	ストックホルム	スウェーデン
5.27	木	入港	午後		
5.28	金	入港	午前	ヘルシンキ	フィンランド
5.31	月	入港	朝	コペンハーゲン	デンマーク
6.2	水	入港	午前	ベルゲン	ノルウェー

ソグネフィヨルド遊覧					
6.6	日	入港	朝	レイキャピク	アイスランド
6.13	日	入港	朝	ニューヨーク	米国
6.14	月	入港	深夜		
6.20	日	入港	朝	カルタヘナ	コロンビア
6.21	月	入港	午後		
6.22	火	入港	早朝	クリスタバル	パナマ

パナマ運河通航					
6.24	木	入港	朝	プンタレナス	コスタリカ
6.28	月	入港	午前	マンサニージョ	メキシコ
7.5	月	入港	朝	バンクーバー	カナダ

アラスカフィヨルド遊覧					
7.12	月	入港	朝	スワード	米国
7.23	金	入港	朝	横浜	
7.24	土	入港	午後	神戸	

※訪問地や航路は、天候や海況の状態による船長判断、その他の理由により変更する場合があります。  
0:00~ 4:00~ 6:00~ 8:00~ 12:00~ 18:00~ 23:00~  
深夜 早朝 朝 午前 午後 夜 深夜

多様なニーズに合わせて選べる船室の数々

プライベート空間でも海を身近に感じられる、海側に向けた船室を豊富に備えたパシフィック・ワールド号。旅の目的に合わせ、自由にお選びいただける船室設定です。



ご確認事項

- 天候や現地事情の影響により、入出港日時の変更や抜港になる場合がございます。
- 本船が沖合に停泊し、テンドーポートなどを使用して上陸する寄港地では、気象条件によっては上陸できない場合がございます。
- この旅行は地球の遠隔地への航海であり、天災地変、政治状況の悪化、現地官軍の命令など、当社が関与し得ない事由が生じた場合、乗客の安全を第一と考え、また航海の安全を考慮し、お客様に事前に、あるいは緊急の場合は変更後にお知らせし、旅行日程、旅行サービスの内容を変更する場合がございます。
- 航海日程は船長や船会社の判断によっても変更される場合があります。
- 上記のような不可抗力による変更の場合でも、払い戻しは一切ございませんので、予めご了承ください。
- 本パンフレット記載の寄港地に関する案内文および写真の一部は、オーバークルーズツアー含むオプションツアー（有料）に参加された場合にお楽しみいただける内容を含んでおります。
- オーバークルーズツアーは寄港地で一時下船して別の港で再会流するツアーです。
- 本パンフレットに掲載の写真は、お客様にピースポートクルーズのイメージをお伝えするものであり、過去に使用した別の客船で撮影された写真も含んでおります。また、季節に関わりなく全て旅のイメージです。
- 横浜港乗船の方は神戸港にて、また神戸港乗船の方は横浜港にて一時下船ができません。
- ご自宅から集合・解散地等寄港地までの交通費は含まれません。